

槍ヶ岳 北鎌尾根

～湯俣から転戦、水俣乗越より～

2016年4月29日（金）～5月3日（火）

メンバー：L松野（記）・佐々木

【1日目】4月29日 曇りのち晴れ ～湯俣から水俣川遡行、途中撤退

七倉ダムの登山案内所で計画書を出すと「昨日までの雨で増水してるよ」と言われました。今回は、最悪水俣川を渡渉できなかった場合、北鎌尾根の下半部は諦め、上高地に移動して水俣乗越経由で北鎌尾根上半部のみ登ることを視野に入れていました。なのである程度は想定内でしたが、一応この目で水俣川を見てみないと、ということで予定通り湯俣へ向かいました。

思ったより天気が良く、湯俣までの道すがら、目指す槍が見えました。



水俣川出合いに架かる吊り橋は今年もワイルドです。

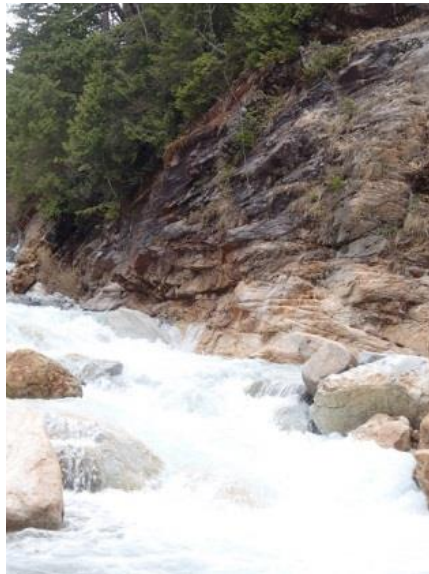


水俣川に入り少しの高巻きのあと、河原に出たところで渡渉用の服装に着替えました。ネオプレン靴下、ファイントラックのスキンメッシュタイツにカッパのズボンをはいて、裾をテープで巻きました。靴は高巻きも考慮して、私がガイドテニー、佐々木さんはウォーターテニーです。アイゼンを装着すれば雪渓も渡れます。さらにバランスを取るためのストックも持ってきました。準備は完璧だったんですが…。

中東沢出会い手前で一度渡渉します。(写真は中洲で分断された小さい流れの方)



ですがその次の、大きい流れが渡れません。
戻ってへつるにも、残置ロープのある壁には近づけません。



あとは、このガレの上を高巻くしかないのですが・・・。



少し川下に戻って、藪を掻き分け斜面を登りトラバースを試みるも、ズルズル・・・。



ちょっと危険だったので一旦戻ることになりました。いろいろ考えましたが、あの水量ではこの先の渡渉も難しいでしょうし、私たちの力量では、今引き返す判断をしたほうが槍の山頂を踏める確率が高いかな・・・と。で、残念ですが今日来た道のりを戻り、七倉ダムから沢渡へ移動することになりました。

〈コースタイム〉

6：30 七倉ダム駐車場（私がカッパのズボンを車に忘れてタクシー2往復）

7：00 高瀬ダム

9：30 湯俣

12：00 水俣川高巻き撤退

14：00 湯俣

16：45 高瀬ダム（公衆電話でタクシー要請）

17：30 七倉ダム駐車場

その後、沢渡バスターミナルへ移動し仮眠

【2日目】4月30日 晴れのち雨 ～上高地から水俣乗越経由で、北鎌沢右俣出合いまで

気を取り直して、やって来ました上高地です。



横尾を過ぎ、槍沢を大曲まで。



水俣乗越を登ります。トレースはなかったんですが、途中、急に左から先行者が現れたのでそのあとを追いました。



水俣乗越からは天上沢へ雪溪の大斜面を下ります。



今日は北鎌沢右俣出合いにテントを張ります。天気は下り坂、雨が降ってきました。

〈コースタイム〉

5：30 上高地

8：05 横尾

13：20 水俣乗越

14：45 北鎌沢右俣出合い

【3日目】5月1日 小雨のち風雪 ～北鎌沢右俣出合いから独標越えた少し先まで
今日は低気圧の影響で午前中は悪天ですが、午後は回復の予報です。

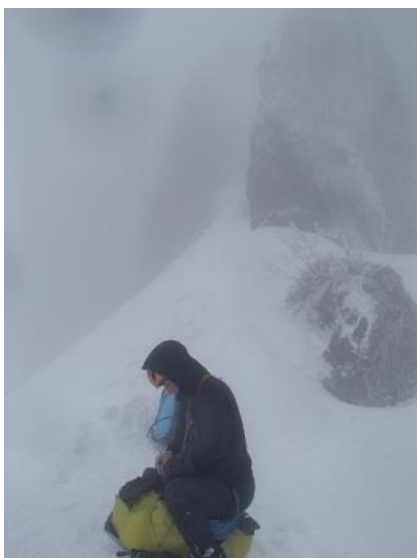
小雨のなか北鎌沢右俣を登ります。



北鎌尾根に乗ると風も強く、ガスで視界がありません。
急な雪壁やナイフリッジなど注意して進みます。



大きな黒い岩が立ちはだかって、独標基部だと分かりました。



独標 1 ピッチ目の佐々木さん。



次のビレイ点を作成する佐々木さん。



独標では3ピッチロープを出しました。独標を越える頃には天候は回復どころか悪化、暴風雪の様相になってきました。幕営地を探しながら進みます。小岩峰のトラバースに1ピッチロープを出したあと、ちょっとしたコルに出ました。「幕営候補地にいいなあ」と思っていた矢先、ガスの向こうにロウソクのようにそそり立つ岩峰が見え、そこに先行者がロープを出して取り付いていました。しかもこの暴風雪のなか進退窮まっているようでした。（視界さえ良ければ、この岩峰には登らずルンゼを降りて行けばいいことが、すぐにわかるものでした） ちょっとその情景が恐ろしく見えたので、今日の行動を中止、ここで幕営と決めました。結局その日は天候が回復することはなく、一晩中風が吹き荒れていました。

〈コースタイム〉

5:25 北鎌沢右俣出合い

8:05 北鎌のコル

10:30 独標基部

? : ? 独標

14:10 独標越えた少し先のコル（幕営）

【4日目】5月2日 晴れ ～槍ヶ岳山頂を越えてババ平まで

昨夜の幕営地。朝から天気は回復傾向です。



幕営地から少し進むと槍ヶ岳が見えました。昨日は悪天で何も見えなかったのですが、やっと思い描いていた景色が見られました。この先いくつもの小岩峰を越え、P14?では直登にてこずり、トラバースに変更して1ピッチロープを出しました。ぐんぐん大槍が近づいてきます。



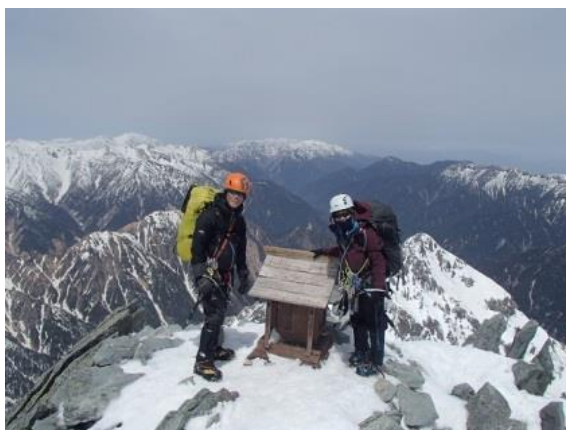
北鎌平への登り。



大槍への登りが急傾斜になり始めたあたりからロープを出しました。
天気も景色も最高、楽しいクライミングです。



「チムニー」と呼ばれているところがどこかわからないまま
4ピッチで山頂へ。頑張りました！



大槍を下ると急に疲労がでて、佐々木さんの後をヨロヨロと追いかけてながら
槍沢を降りていきました。



ババ平まで下るのが精一杯で、ここでもう一泊しました。



〈コースタイム〉

5 : 20 幕営地

9 : 25 北鎌平

12 : 10 槍ヶ岳山頂

15 : 40 ババ平

【5日目】5月3日 晴れ ～ババ平から上高地へ

今日は上高地へ帰るだけです。

樹林の中の穏やかな登山道を歩いていると、下山した安心感に満たされました。



〈コースタイム〉

5:00 ババ平

7:00 横尾

10:05 上高地

沢渡に戻り、お風呂は梓湖畔の湯（¥720）で。お風呂上がりに畳敷きの広縁で、コーヒー牛乳と温泉ゆで卵をいただきました。

帰路は佐々木さんの好みで、権兵衛峠を通り伊那インターから高速に乗りました。途中、その伊那で「印度屋」というカレー屋さんに寄りました。テーブルからは緑の田んぼの向こうに、鋸岳、甲斐駒、仙丈、塩見などが一望でき、もう初夏の景色が広がっていました。

